

平成29年度決算  
企業会計  
決算特別委員会資料  
市民病院

1. 平成28年度決算 企業会計決算特別委員会の  
意見・要望・指摘事項に対する処置状況 …………… 1頁
2. 平成28年度決算 監査委員の  
指摘・要望事項に対する処置状況 …………… 2頁
3. 企業会計決算特別委員会出席者名簿 …………… 4頁

様式2

平成28年度決算 企業会計決算特別委員会の  
意見・要望・指摘事項に対する処置状況

| 所 属  | 意見・要望・指摘事項   | 処 置 状 況  |
|------|--|--|
| 市民病院 | <p>平成28年度における医師初期臨床研修(基幹型)のマッチングに関して募集定員6名に対して、応募が1名と定員に満たなかった原因として、立地や救急・手術件数の多さなど、市民病院の魅力について研修医に十分に伝わらなかったことや医局の老朽化の影響があったのではないかとのことであるが、研修医からも選ばれるような病院になることが、市民の医療に資することだと考えるので、今後、改善に努められたい。</p> | <p>初期臨床研修医のマッチングにつきましては、医学生を対象とした臨床研修病院合同説明会に参加して、当院の概要や初期臨床研修プログラムの特徴などについて説明を行い、市民病院の魅力を伝えてきたところであります。</p> <p>また、当院の初期臨床研修プログラムをより魅力的なものとするため、今年度、プログラムの見直しを実施し、平成31年度からのプログラム内容を変更することとしたところであり、</p> <p>① 研修医が希望した場合、最長6ヶ月間、高度先進医療を担う大学病院での研修を、提携大学病院の中から選択することができるプログラム機能の追加</p> <p>② ドクターヘリで有名な日本医科大学千葉北総病院での救命救急医療研修のほか、臨床研修病院として全国的に研修医の人気が高い岩手県立中央病院や沖縄の大浜第一病院など、地域医療研修の受け入れ先として提携する病院の追加</p> <p>を行ったところであります。</p> <p>医局につきましては、医師が働きやすく、より魅力ある職場環境となるように、今年度中にリニューアルすることとしており、医師や研修医の確保に繋げてまいりたいと考えております。</p> |

平成28年度決算 監査委員の  
意見・要望・指摘事項に対する処置状況

| 所 属  | 意見・要望・指摘事項  | 処 置 状 況   |
|------|---|---|
| 市民病院 | <p>(1)経営改善計画の推進について</p> <p>富山市民病院第3期経営改善計画(平成27年度～平成29年度)の中間年度である平成28年度末の各種指標の状況は、診療報酬改定に伴う平均在院日数の短縮化や紹介患者数の増加への取り組みにより、入院の平均診療単価、紹介・逆紹介率、新規入院患者数、救急入院患者数では、前年度数値を上回ったものの、外来の平均診療単価、病床稼働率は前年度と比べ減少する結果となった。</p> <p>これら各種指標については、計画の最終年度である平成29年度末時点で目標値が設定されているが、今後、その達成に向けて一層努力されたい。</p> | <p>第3期経営改善計画では、その最終年度である平成29年度において各種指標を達成するため、職員一丸となって各種施策に取り組みました。</p> <p>地域の開業医との情報交換や診療所訪問の範囲拡大を図ることで紹介患者数の増加に取り組んだことなどにより、平成29年度においては紹介率及び逆紹介率において目標を達成しました。</p> <p>一方で、患者一人あたりの平均単価においては前年度と比べ入院・外来いずれも上昇したものの、計画で定めた目標を達成するまでには至りませんでした。また、平成28年度の診療報酬改定の影響による平均在院日数の短縮傾向が依然として続いていることなどから、延べ入院患者数が減少し、病床稼働率の目標を達成できなかったほか、新規入院患者数及び救急入院患者数においても、目標の達成には至りませんでした。</p> <p>この状況を改善し、当院が提供すべき医療を安定的に行っていくため、平成29年度に「第4期経営改善計画(平成30年度～平成32年度)」を策定し、病床機能等の再編や人材育成など、計画で定めた施策を着実に実行していくことにより、目標値を達成できるよう努めてまいります。</p> |

|  |   |  |
|--|---|--|
|  | <p>(2)今後の企業経営について</p> <p>平成28年度は、89,357千円の当年度純損益が計上され、平成23年度に地方公営企業法の全部適用とされてから、新会計基準の適用により義務付けられた退職給付引当金を特別損失で一括計上した平成26年度決算を除き、初めての純粋な赤字決算となった。</p> <p>平成28年度においては、前年度と比べ入院・外来患者数が共に減少し、さらには、病床稼働率も年々減少を続けているが、医療需要自体の減少もあり、病床数の削減を含めた経営規模の見直しの時期に来ているとも考えられる。</p> <p>経営に大きな影響を与える定期的な診療報酬の改定に対し、的確かつ迅速な対応が健全な病院事業経営には必須であることから、診療科別病棟別における損益状況からの経営分析を活かし、生産性の改善を図り、着実な黒字経営が持続されるようこれまで以上に努力された。</p> | <p>平成29年に策定された「富山県地域医療構想」では、2025年の医療機能ごとの必要病床数の推計が示され、富山医療圏は、高度急性期、急性期、慢性期の病床が余剰となる一方、回復期の病床が不足するとされています。</p> <p>当院の提供すべき病床機能は高度急性期・急性期医療と考えておりますが、経営改善委員会からは地域医療構想で示されている回復期病床の不足が続くのであれば、公立病院として回復期機能を一部担うことも検討すべきではないかという指摘もあります。また、災害発生時には多数の傷病者を収容しなければいけないことを考慮しますと、そのために病床を確保しておくことにも留意する必要があるため、具体的な病床数については、富山県地域医療構想の推移を見守りながら研究していくこととしております。</p> <p>また、第3期経営改善計画における経営指標のうち、職員給与費対医業収益比率が未達成であったことなどから、生産性の向上は第4期経営改善計画における重要なテーマの一つと位置付けております。当院では、現在、診療科別の原価計算書を作成しております。原価計算書は、職員が診療科別の収支を把握することにより業務改善に活用することができますが、現在作成しているものは配賦基準の精度が低く、分析資料としては不十分なものとなっております。今後は、より精度を高め、病棟別の収支状況を作成するなど、病院事業の経営分析に活用してまいります。診療報酬改定などの環境の変化に柔軟かつ迅速に対応しながら、今後も、計画に掲げる取り組みを積極的かつ継続的に行うことで、経営の安定化に努めてまいります。</p> |
|--|---|--|

企業会計決算特別委員会出席者名簿

| 所 属   | 出 席 者 名      |      |       |       |         |      |       |      |
|-------|--------------|------|-------|-------|---------|------|-------|------|
|       | 特 別 職        |      | 部 長 級 |       | 部 次 長 級 |      | 課 長 級 |      |
|       | 職            | 氏 名  | 職     | 氏 名   | 職       | 氏 名  | 職     | 氏 名  |
| 市民病院  | 病 院<br>事業管理者 | 泉 良平 |       |       |         |      |       |      |
|       |              |      | 院 長   | 石田陽一  |         |      |       |      |
|       |              |      | 事務局長  | 古澤富美男 |         |      |       |      |
|       |              |      |       |       | 事務局次長   | 高田英俊 |       |      |
|       |              |      |       |       | 看護部長    | 神保浩子 |       |      |
|       |              |      |       |       |         |      |       |      |
| 経営管理課 |              |      |       |       |         |      | 課 長   | 井村孝志 |
|       |              |      |       |       |         |      | 主 幹   | 長森貴弘 |
|       |              |      |       |       |         |      |       |      |
| 医事課   |              |      |       |       |         |      | 課 長   | 横山浩二 |
|       |              |      |       |       |         |      |       |      |
|       |              |      |       |       |         |      |       |      |
|       |              |      |       |       |         |      |       |      |
|       |              |      |       |       |         |      |       |      |